

## 医療面接の基礎

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
対象学年	2	区分・時間数	講義 13.5 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

医療の担い手の一員として、患者、同僚、他職種専門職や地域社会との信頼関係を確立するためには、相手のこころや立場、価値観等の理解と尊重が必要となる。本講義では、医療面接に必要な態度と基本的技法を修得するために、コミュニケーションの基礎、行動科学理論を用いたヘルスコミュニケーション、患者の特性に応じた医療面接等について学ぶ。さらに、基本的な理論を学んだ後、学生同士によるロールプレーを行い、理論の理解を深めることによって医療面接を効果的に行う基礎を身につける。

### ・教育成果（アウトカム）

1. コミュニケーションと医療面接の基礎を学修することで、対人理解・対人援助に関する基本的な知識と態度を習得し、相手の立場に立った援助ができるようになる。
2. 他者との信頼関係や他者配慮的態度について学修することで、チーム医療に寄与できるコミュニケーション能力を身に付け、実践することが出来る。
3. ストレスマネジメント概念を理解することで、自身のメンタルヘルスの保持増進のため必要な行動をとることが出来る。  
(ディプロマポリシー：1,5,6)

### ・到達目標（SBO）

1. 医療面接に用いられる基本的技術について説明できる。
2. カウンセラーに必要な態度について説明できる
3. ヘルスコミュニケーションについて説明できる
4. 行動科学理論をヘルスコミュニケーションへ応用する方法について説明できる。(☆)
5. ストレスマネジメントとセルフケアの重要性について理解し、説明できる。(☆)

### ・講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/13	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	コミュニケーションの基礎
4/27	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	カウンセリングの基礎
5/16	月	1	人間科学科心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教	<演習> 受容・共感

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/18	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	ヘルスコミュニケーション理論の理解
5/25	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授 藤澤 美穂 助教	<演習> ヘルスコミュニケーション理論の応用
6/1	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	個人と環境の相互作用を理解する
6/8	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	<演習> クライアントからの質問への応答
6/13	月	1	人間科学科心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	トラウマティックストレスの理解と ストレスマネジメント
6/22	水	2	人間科学科心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	態度分析、医療面接まとめ

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方	斎藤清二	医学書院	2005

・成績評価方法

定期試験の成績を70%、演習への取り組みと提出物を30%として評価する。

・予習復習のポイント

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学習（予習・復習）をおこなうこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (MacBook Air MD711J/A)	1	講義資料の提示
講義	プロジェクター	1	講義資料・教材の提示
講義	DVD (BR)プレーヤー	1	教材の提示
講義	書画カメラ	1	教材の提示
講義	デスクトップ PC (iMac21.5 ZOMP CTO Education)	1	講義資料の作成

# 基礎統計学

責任者・コーディネーター	情報科学科数学分野 江尻 正一 教授		
担当講座・学科(分野)	情報科学科数学分野		
対象学年	2	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

## ・学習方針（講義概要等）

生命科学の領域には、現象の因果関係が錯綜し、決定論的方法ではなかなか解決できない問題がとりわけ多い。統計学は複雑で曖昧な生命現象を解明するために有効な科学的方法論として医療系諸分野の実務・研究に広く用いられている。近年、「科学的根拠に基づく医学・医療（evidence-based medicine）」の大切さが広く認識されるにつれ、その数理的背景を支える統計学の重要性が以前にも増して強く認識されるようになった。統計学は確率論の上に成り立つ分野であるから、100% 間違いない論理を積み重ねてゴールを目指すのではなく、結論が間違っているかも知れない可能性を数値的に評価し、そのことを織り込んだうえでゴールを目指す。「直接法」で攻めるには手に負えない過ぎる複雑生命現象の現実的解明手段として統計学が大いに利用される理由はこの点にある。幸か不幸か、今は統計学の数学的背景知識が殆ど無くとも、コンピュータの力を借りれば高度な統計解析技法が誰でも簡単に利用できる時代になったが、「なぜ？」という疑問に自ら答える力がなければ「便利」は「危険」と同義語である。本科目では、統計学を「正しく安全に」利用するために必要な基礎知識と統計学的思考法を学ぶ。

## ・教育成果（アウトカム）

資料の整理および確率論の基礎知識を修得することによって、記述統計学、推測統計学の基本的な考え方を十分に会得することができる。いくつかの代表的統計技法を用いた具体例を通して基礎理解することによって、薬学領域で応用するための基本的知識を修得し、技能を身につけることができる。

(ディプロマポリシー：2)

## ・到達目標（SBO）

1. 順列や組合せに関する基本的な計算ができる。
2. 基礎的な確率の問題を解くことができる。
3. 確率変数、確率分布が理解できる。
4. 期待値、分散、標準偏差の定義および意義を説明できる。
5. 代表的な統計分布について説明できる。
6. 推定・検定の基本的考え方を確率論的立場で説明できる。

・ 講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/7	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	資料の整理
9/8	木	3	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	相関
9/14	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	確率(1)
9/21	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	確率(2)
10/5	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	確率分布(1)
10/12	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	確率分布(2)
10/19	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	代表的な確率分布(1)
10/26	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	代表的な確率分布(2)
11/2	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	標本抽出
11/9	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	推定(1)
11/16	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	推定(2)
11/30	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	仮説検定(1)
12/7	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	仮説検定(2)
12/14	水	2	情報科学科数学分野	長谷川 大 助教	仮説検定(3)

・ 教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Excelによるメディカル／ コ・メディカル 統計入門	勝野恵子、井川俊彦	共立出版	2003
推	医学への統計学 新版	丹後 俊郎	朝倉書店	1993

・ 成績評価方法

小テスト、定期試験の成績を70%、課題レポート提出状況や積極的な取り組み状況を30%で総合的に評価する。

・予習復習のポイント

各自、所有の関数電卓を持参のこと。必要に応じてノート PC 持参のこと。  
予習については、事前に配布するプリントの例題の解き方を教科書の内容も参考にして自分なりに考えておくこと。復習については、その日に取り扱った例題・練習問題を改めて解き直してやること。  
授業に対する事前学修（予習・復習）の時間は最低 30 分を要する。  
【参照】薬学教育モデル・コアカリキュラムー平成 25 年度改訂版ー薬学準備教育ガイドライン（例示）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート PC(MS Windows/Apple Mac)	1	資料作成, 講義プレゼン用
講義	タブレット(Apple iPad/Android)	1	講義プレゼン用
講義	関数電卓	1	資料作成, 講義プレゼン用
講義	教室付属 AV システム一式	1	資料提示, 講義プレゼン用